

# ふかがわ

# 市議会

# だより

第1回臨時会(令和8年1月28日)

第1回定例会(令和8年3月2日~19日)

- ◆新年度の予算が決まりました……………2~3P
- ◆中期行財政運営プラン特別委員会を設置……………4P
- ◆複合施設整備特別委員会の調査を終了……………4P
- ◆可決した条例、決議など……………5~6P
- ◆議会基本条例に関するパブリックコメントを実施……………7P
- ◆一般質問……………8~15P

政務活動費収支報告……………16P

No. 264 2026.5

発行 深川市議会 令和8年5月7日発行  
編集 広報編集委員会

## 議会報告会

事前申込は  
不要です

小グループに分かれて行う「意見を聴く会」を初開催！皆さんの声を聴かせてください！

2026

6.3

水

18:00

20:00

会場

経済センター 3階 多目的ホール  
(深川市1条9番19号)

対象

深川市民

第1部

18:00~19:00

### 各委員会の活動報告

- ① 総務経済常任委員会  
水道料金の見直しについて
- ② 厚生文教常任委員会  
北新小学校の統合について
- ③ 予算審査特別委員会  
令和8年度当初予算について
- ④ 議会改革特別委員会  
議会基本条例とペーパーレスの推進について

第2部

19:00~20:00

### 意見を聴く会

小グループに分かれ、テーマに基づき、日頃感じている、まちへの関心や困りごとなど、市民の皆さんの声をお聴きし、今後の議会活動に活かしてまいります。

テーマ

深川の暮らしで  
もっとよくしたいこと

Pick Up

新年度予算 議会が特に審査を深めたものや新規・重点事業の一部を紹介



90万円

**子育て世帯に対する支援の充実**  
 こども誰でも通園制度や、小学1年生へ成長に沿った本を贈るブックセカンド事業を実施します。



複合施設外観イメージ

11億3,585万円

**複合施設整備事業の推進**  
 施設愛称を「ふかふか」に決定し、令和8年11月の供用開始に向けて建設工事などを進めていきます。



留萌本線代替交通「きたそライナー号」

6,273万円

**公共交通の確保・再構築**  
 留萌本線の代替交通やAIデマンド交通の導入など、効率的で持続可能な公共交通を再構築します。



ZERO CARBON HOKKAIDO FUKAGAWA  
 1,432万円

**脱炭素の推進**  
 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に加え、公用車に電気自動車を導入します。



1,458万円

**自治体DXの推進**  
 キャッシュレス公金収納やAI電話の導入など、デジタル技術を活用した各種施策を展開します。



3,993万円

**関係人口創出に向けた取組**  
 空き家起業型地域おこし協力隊の配置や保育園留学事業などを展開し、関係人口を創出します。



6,898万円

**公共施設の計画的な修繕**  
 計画的な修繕により公共施設の長寿命化を図るほか、災害時の避難所などにエアコンを設置します。



9,308万円

**消防車両の更新**  
 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車及び可搬消防ポンプ積載資機材搬送車を更新します。

会計名	予算額(万円)
特別	
介護保険	246,560
国民健康保険	277,600
後期高齢者医療	52,600
企業	
水道	94,660
下水道	159,020
病院	699,058

予算審査特別委員会での審査経過

3月3日の本会議で、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、松本議員が委員長に、新田議員が副委員長に就任し、4日間の委員会審査を行いました。

委員会では、各会計の担当課長等から予算の説明を受けた後、各委員が予算書や補足資料に基づき所管から聞き取りを行い、理解を深めるとともに疑問点を整理しました。その後、3月13日、16日、17日の議場での委員会においては160項目にわたる質疑を行い、17日には各会計について討論・採決を行いました。

3月19日の本会議において松本委員長より、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、病院事業会計の4件が賛成多数、そのほかの3件については全会一致で「原案のとおり可決すべきもの」との委員会報告が行われました。



松本予算審査特別委員長

# 新年度の予算が 決まりました



各会計総額 **354億5,498万円**  
 うち一般会計 **201億6,000万円**

第1回定例会  
 議案・審議結果のあらまし

3月2日開会の第1回定例会に提案された議案は、条例6件、令和7年度補正予算8件、令和8年度当初予算7件、決議2件、意見書1件、付議事件5件の合わせて29件でした。

うち、補正予算7件、付議事件4件は初日に全会一致で可決または同意。3月3日の本会議で提案された条例1件は全会一致で可決。残りの条例5件と当初予算7件、付議事件1件は、3月9日から各委員会審査を経て、19日の最終日に、全会一致あるいは賛成多数で可決しました。

19日の最終日は、追加提案の補正予算1件、意見書1件、決議2件を全会一致で可決しました。

市議会だよりに掲載しきれなかった案件はHPで確認できます。

議決結果

条例	新年度予算	補正予算※	決議	付議事件※
8件	7件	13件	2件	8件

※補正予算 年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるために提出される予算  
 ※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、予算、決議以外のものを付議事件としています。

**Pick Up**  
**特別委員会設置の決議** **中期行財政運営プラン特別委員会を設置** **全会一致**

- 委員長 村上 誠
- 副委員長 伊藤美恵子
- 委員 北村 薫  
有働 正夫  
新田 旺  
松本 雅祐

令和8年度の市政方針において、田中市長は、本市の予算編成について、物価高騰や人件費の上昇、高齢化に伴う福祉費の増加、公共施設の老朽化、大型施設の市債償還などが予想される一方で、人口減少などにより市税収入や地方交付税は減少する見込みのため、その収支不足の対策として各基金を大幅に取り崩さなければならない見通しであるとの認識であり、この状況を受け、健全な財政基盤の確立と市民生活の安定を目指して深川市中期行財政運営プランを策定することを表明しました。

本プランは、今後の市民生活に影響を及ぼすことが想定されるため、深川市議会として特別委員会を設置し、十分な審議と幅広い調査を行っていきます。

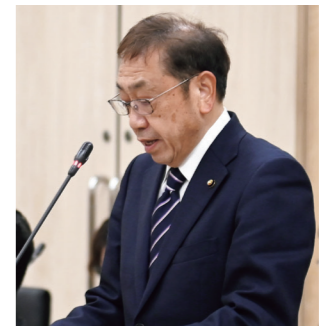


令和8年度市政の方針

**Pick Up**  
**複合施設** **複合施設整備特別委員会の調査を終了**

複合施設整備特別委員会は、令和5年12月6日に設置し、令和6年第4回定例会において中間報告を行った以降は、7年12月15日に委員会を開催し、深川市まちなか交流施設（仮称）の管理運営等の考え方について、所管から説明を受けました。委員からは、施設使用料算定の考え方やシェアカフェの運用方法、既存サークルへの対応、まちライブラリーや雑誌スポンサー制度といった新たな取組などについて質疑や意見が出されました。

その後、3月2日の令和8年第1回定例会初日において、宮澤複合施設整備特別委員長が委員会での調査経過と概要を報告し、本特別委員会における調査を終了しました。



宮澤複合施設整備特別委員長

**【条例】**

■深川市立学校設置条例の一部を改正する条例  
**全会一致**

北新小学校保護者有志の会、北新小学校学区内町内会連合会から、それぞれ深川市と深川市教育委員会に対して、令和9年4月に北新小学校を一已小学校に統合するよう要請を受け、地域からの要望を含めた様々な検討を進めた結果、統合が可能であると判断しました。このことから、令和9年4月1日にこれら2校を統合するため、所要の改正を行うものです。

■深川市まちなか交流施設条例  
**全会一致**

深川市まちなか交流施設は、市民の多様な交流及び生涯学習の推進並びに交通結節機能の向上を図り、まちなかの活性化に寄与する施設として整備を進めています。本施設は、地方自治法第244条第1項に定める公の施設として設置するものであり、同法第244条の2第1項の規定により、当該施設の設置及びその管理に関する事項について定めるものです。

**【決議】**

■深川市議会議員佐々木一夫君に対する問責決議  
**全会一致**

佐々木一夫議員は、自身が発行する「れいわ新選組市議会報告第43号」において、事実と異なる内容を記載し、市民に誤解を招く文書を配布している。

（問責決議全文）

一つには、特定の職員の個人名を記載し、職務に関係のない事項について言及したことは、個人の名誉を傷つけ、プライバシーを著しく侵害するものである。また、同僚議員に対して「不正容認・不正支援勢力」「無知（恥）蒙昧者」など、事実に基づかない記述や侮辱した表現を多数記載したことは、議員の社会的評価を低下させるものであり容認できるとは認めない。

二つには、議場の秩序保持、議事整理を適切に行っている議長に対して、「質問取りやめを強要」「議長の立場をはき違えた愚劣な質問妨害者である」など、事実を歪曲した内容を記載しており、議長の議事運営を否定したことは、地方自治法や会議規則を無視した不適切極まりないものである。

三つには、「深川市議会は、深川市行政と一体の不祥事隠ぺい機関である」としており、自らも構成員の一人である深川市議会の信用を失墜させ、市民に無用な誤解を与える記述であり看過できないものである。

議員が発行する「市議会報告」は、議会での審議内容や重要な決定事項について、市民に対して事実に基づき正確に情報提供をしなければならぬが、発言の自由、表現の自由を盾にして、事実をねじ曲げて流布することは、議員として決して許されるものではない。佐々木一夫議員は過去に4回の問責決議を受けており、そのいずれもが市議会報告の不適切内容を質したものであるが、依然として市民に誤解を招く文書を配布している。自身の発言責任について猛省を求め、問責するものである。

提出者からの提案説明後、佐々木議員から問責決議に対する発言がありました。

その後、4人の議員が採決を棄権し、出席議員の全会一致をもって可決されました。

# 深川市議会基本条例(案)を取りまとめました

## 基本条例って何？

深川市議会では、市議会の在り方や役割をより明確にし、市民に開かれ、市民の声を市政にしっかり届ける議会をつくるため、深川市議会基本条例(案)を取りまとめました。この条例では、「市民の代表として、どのような姿勢で活動していくのか」「どのようにして市民の声を市政に届けていくのか」「市議会としてどのような責任を果たしていくのか」といった基本的な姿勢や議会が守るべきルールを定めています。



## 条例内容の一部を紹介

### 1. 市民への情報公開や説明責任

- ・第7条(情報公開)では、本会議・委員会の原則公開、議事録や議員の表決結果の公開を定め、市民に分かりやすく情報を届けることを規定しています。
- ・第8条(議会報告会)では、全議員が参加する議会報告会を開催し、市民に議会活動を説明するとともに、市民意見を的確に把握することを規定しています。
- ・第17条(議会広報の充実)では、議会の重要な情報を常に市民へ周知すること、情報通信技術も活用した広報の充実を図ることを規定しています。

### 2. 市長との健全な緊張関係の保持

- ・第9条(市長等との関係)では、二元代表制の下、議会は市長等と緊張感のある関係を保ちながら、市政のチェック機能の役割を果たす姿勢を示しています。また、市長等は議会での質疑や質問の趣旨を確認することができ、論点を整理し、より建設的で分かりやすい議論を行う仕組みについて規定しています。

## 意見募集(パブリックコメント)を実施します

- 意見募集期間 4月30日(木)～5月29日(金)
  - 条例案の閲覧場所 市議会HP、市役所、市役所各支所、生きがい文化センター、文化交流ホール「み・らい」、中央公民館、音江公民館
  - 意見を提出できる方 市内に在住、勤務、在学する方など
  - 意見書の提出方法 閲覧場所に備付け、または市議会HPからダウンロードした用紙に必要事項を記入し提出してください。
- ・郵送または持参 〒074-8650 深川市2条17番17号 深川市議会事務局宛て
- ・ファクシミリ 0164-22-8134
- ・電子メール gikai@city.fukagawa.lg.jp



パブリックコメント

■生産現場に寄り添った農業政策を求める意見書

全会一致で可決し、内閣総理大臣などに送付しました

## 【意見書】

固定資産評価審査委員会委員 野原利浩さん、青木裕幸さんの任期満了に伴い、先の方々を選任したいとの提案があり、全会一致で選任に同意しました。

岡田 博樹 さん  
青木 裕幸 さん

同意

■深川市固定資産評価審査委員会委員の選任について

## 【人事案件】

議員名(議席番号順)	議員名(議席番号順)													議決結果	
	伊藤美恵子	新田 旺	有働 正夫	村上 誠	松原やす子	佐々木一夫	大前 昭代	田畑 陽美	北村 薫	近沢 弘幸	鶴岡 恵司	宮澤 孝司	松本 雅祐		山本 時雄
賛否が分かれた議案															
令和8年度深川市一般会計予算	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	○	○	○	可決
令和8年度深川市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	○	○	○	可決
令和8年度深川市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	○	○	○	可決
令和8年度深川市病院事業会計予算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	-	○	○	○	○	可決
深川市税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	○	○	○	可決
深川市議会議員佐々木一夫君に対する問責決議	○	○	○	○	棄	除	○	○	○	-	○	棄	棄	棄	可決

※賛成=○、反対=●、棄権=棄、除斥(採決に加わることができない)=除、近沢弘幸議長は採決に加わりません。

■正式な会期日程は、直前の議会運営委員会で決定されます。詳しくは深川市議会事務局へお問い合わせください。

■本会議は、いずれの日程も傍聴することができます。当日、市役所4階の議会事務局で受付しています。

24 水	22 月	19 金	18 木	17 水	16 火
本会議4日目	常任委員会	常任委員会	本会議3日目	本会議2日目	本会議1日目

6月  
定例会の  
予定

6/16～6/24(9日間)  
時間はいずれも午前10時～

質問した事項

11人の議員の一般質問を紹介します。掲載しきれなかったほかの質問は、深川市議会YouTubeチャンネルや一般質問通告表で御覧いただけます。

深川市議会  
YouTube  
チャンネル



一般質問  
通告表



■松本 雅祐 議員…08

- ・合同墓に故人名を刻むこと
- ・生きがい文化センターにエアコンを

■大前 昭代 議員…09

- ・福祉避難所の受入れ体制は
- ・スクールバスを地域の足として活用

■鶴岡 恵司 議員…10

- ・農業者の人材確保への取組
- ・令和7年度の市内の有効求人倍率は

■伊藤美恵子 議員…10

- ・公立高校の魅力づくり事業
- ・太陽光発電設備の規制条例について

■松原やす子 議員…11

- ・給付金の支給方法について
- ・福祉除雪助成事業について

■村上 誠 議員…12

- ・麦・大豆施設増設への支援
- ・外国資本による土地購入について

■新田 旺 議員…12

- ・拓大閉校後の在り方は
- ・広報紙配布のデジタル化を進めては

■田畑 陽美 議員…13

- ・地域全体で支える子育てを
- ・健康寿命延伸と健康づくりの推進

■山本 時雄 議員…14

- ・ふるさと納税の寄附状況は
- ・有害鳥獣の処理頭数について

■宮澤 孝司 議員…14

- ・パークゴルフ場の管理は
- ・旧職業訓練センターの管理について

■佐々木一夫 議員…15

- ・生活応援給付金の支給方法
- ・拓殖大学北海道短大の撤退について



まつもとまさひろ  
松本雅祐 議員  
「令和公明クラブ」

合同墓に故人名を刻むこと  
墓誌を含む設備導入を検討

深川市合同墓  
「やすらぎの丘」  
について：市HP



合同墓「やすらぎの丘」

◎ 合同墓は少子高齢化に伴い利用が増え、承継不安を抱える市民の重要な受皿となっている。一方、故人の名を残したいとの要望もあり、合同墓に希望者の名前を刻む仕組みを導入できないか伺う。

◎ 維持管理費の負担などの課題がありますが、合同墓を利用される方々の事情は多様であり、遺族の心情に丁寧に寄り添うことも重要と考えます。合同墓は、令和10年度に埋蔵予定数の上限に達することが見込まれ、新たな合同墓の整備を検討するに当たって、現行の趣

旨を尊重しつつ、遺族の思いに応えられるよう、墓誌を含む設備導入や柔軟な運用方法を検討していきます。

◎ 近年、猛暑日が増え、熱中症対策は喫緊の課題となっている。市民から

は生きがい文化センターにエアコンを整備し、クーリングシェルターとして活用できないかとの要望もあるが、市の考えを伺う。

◎ 深川市では、市役所ロビーとプラザ深川の2か所をクーリングシェルターに指定しており、暑さを避ける場所として一



おおまえあきよ  
大前昭代 議員  
「民主クラブ」

福祉避難所の受入れ体制は  
指定9施設と連携し研究

◎ 高齢者や障がい者、妊産婦、医療的ケア児など、特別な配慮を必要とする方は、市が指定している福祉避難所へ避難する。福祉避難所の受入れ可能人数や備蓄品の状況及び今後の計画について伺う。

◎ 約50人の受入れが可能となっており、設置及び運営に関するマニュアルを定めています。福祉避難所が必要となる物資等は、市が備蓄している食料、飲料水のほか、毛布や暖房設備、マスクやアイソレーションガウンなどの

◎ 国土交通省では、スクールバスを地域住民の移動に活用できるよう法改正を検討している。こ

れを踏まえ、本市の交通空白地帯における移動手段として、スクールバスを活用する考えを伺う。

◎ 交通空白地帯における移動手段として、スクールバスをはじめとした既存の輸送資源を活用することは、有効な選択肢の一つと捉えています。しかし、本市は交通空白

避難所運営マニュアル等について：市HP



スクールバス



鶴岡恵司 議員  
【公政クラブ】

## 農業者の人材確保への取組 定着に向けた取組を推進

◎ 農業に関心を持つ幅広い層に深川へ来てもらう取組が求められている。将来の農業や地域を守るために、市が中心となって関係機関と連携しながら人材確保に取り組みべきと考えるが、市の考えを伺う。

◎ 深川市新規就農者等受入協議会など関係団体と連携し、様々な角度から新規就農者の確保及び育成に取り組んでいますが、将来に備えた人材確保の取組の重要性はますます高まっていくと考えます。今後も関係団体等と連携し、就農希望者の円滑な就農・定着に向

けた取組を推進していくとともに、有効な人材確保の方策などについても研究していきます。

◎ 市内の多くの事業所では、業種を問わず、人手不足の課題を持っていると聞く。仕事はあるのに受けることができないとの声もあるが、令和7年度の市内における有効求人倍率の推移について伺う。

◎ ハローワーク深川における令和7年12月時点の月間有効求人倍率は、深川地区1・38倍、滝川地区0・92倍、全道0・93倍、全国1・17倍とな

深川市で農業をはじめませんか？市HP



伊藤美恵子 議員  
【民主クラブ】

## 公立高校の魅力づくり事業 協働体制の在り方を検討

◎ 市内公立高校の存続に向けた魅力づくり事業は、教育委員会だけではなく、市長部局も含めた政策課題として、学校、行政、地域、企業、保護者が一体となって取り組むべきと考えるが対応を伺う。

◎ 市内公立高校の存続に関する意見交換会兼魅力づくりに向けた検討会を開催し、多様な関係者から意見を伺ってまいりました。さらに市長部局でも、まち未来推進課が市内高校との懇談を継続し、学校と地域をつなぐ人材確保の必要性などの意見も伺っています。今後は、公立高校の魅力づくりに

求められる取組や、それぞれの役割分担なども含めた協働体制の在り方について検討していきます。

◎ 太陽光発電設備の規制条例について  
◎ 大規模な太陽光発電施設の設置が計画された場合、自然環境や生活環境の保全等、地域の声

◎ 太陽光発電設備の規制に最大限配慮されるよう、関係する条例の制定が必要と考えるが、市の見解を伺う。

深川西高校・深川東高校の魅力づくりへの支援：市HP



深川西高校・深川東高校



まつばら 松原やす子 議員  
【日本共産党】

## 給付金の支給方法について 効率的な事業運営を検討

◎ 生活応援給付金の電子クーポンでの交付について、高齢者からはスマートフォンがない場合の対応や市役所までの交通費負担など、困惑や不満の声が寄せられているが、支給方法の考えを伺う。

◎ 生活応援給付金の電子クーポンでの交付について、高齢者からはスマートフォンがない場合の対応や市役所までの交通費負担など、困惑や不満の声が寄せられているが、支給方法の考えを伺う。

◎ 高齢になるにつれ、自宅の門口や敷地の除雪が困難となる。令和7年度から福祉除雪サービスが福祉除雪助成事業へ変

◎ 令和6年度までは、深川振興公社が福祉除雪を実施してきましたが、将来の持続性を考慮し、7年度から事業主体を市に移し、対象要件はそのままに利用者負担を見直

深川市福祉除雪助成事業実施要綱



◎ 令和6年度までは、深川振興公社が福祉除雪を実施してきましたが、将来の持続性を考慮し、7年度から事業主体を市に移し、対象要件はそのままに利用者負担を見直



村上 誠 議員  
「公政クラブ」

## 麦・大豆施設増設への支援 国費事業を活用し支援検討

◎ J Aきたそらちが令和10年産からの供用開始を目指す、広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設の増設は、資材費や人件費の高騰により事業費が相当な額になると予想される。市としての支援の考えを伺う。

業を支える重要な基幹作物であり、今回の施設増設は地域農業の維持発展に必要不可欠です。一方、資材等高騰に伴い建設費が増大し、施設整備に伴う農家負担が経営を圧迫する恐れもあります。このため、国費事業の採択が前提となりますが、国費によるかさ上げ支援に

加え、国費で賄いきれない部分への市としての支援についても検討していきます。

開発計画が進められており、本市は地理的にも投資先として有望であると思われるが、現在の状況を伺う。

られています。大規模な土地の売買については、本市には年間15件程度の届出がありますが、外国籍と見受けられる取引は確認されていません。また、届出された土地の地目はほとんどが山林であり、その利用目的についても、現況のまま使用とされています。

広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設パ  
ンフレット



広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設



新田 旺 議員  
「民主クラブ」

## 拡大閉校後の在り方は 学校法人と連携を図り対応

◎ 令和9年3月の拓殖大学北海道短期大学の閉校は、地域経済や雇用、人口動態に直結する重要課題であり、迅速かつ戦略的な対応が求められる。閉校後の在り方に関する協議・検討の進捗状況を伺う。

等教育の機会を提供し、地域振興にも大きく貢献いただいできたことから、閉校の影響を強く懸念しています。現在、同短期大学を所有する学校法人において、教育機関を中心に継承の可能性について検討されており、市も学校法人と連携しながら対応を進めています。現

時点で詳細を示せる段階ではありませんが、地域にとつてよりよい方向につながるよう、引き続き取り組んでいきます。

増大、町内会役員の負担も大きい。今後、デジタル配信を進め、市民が媒体を選択できる仕組みを導入する考えについて伺う。

の要望取りまとめなど、多くの追加作業を町内会にお願いする必要があります。デジタル媒体には、環境負荷の軽減や印刷経費等の削減といった利点がある一方で、町内会の負担が増える大きな課題もあり、現段階では媒体の選択制を導入することは困難と考えます。

広報ふかがわ：市HP



市公式LINEでは広報紙の電子書籍版を配信中



田畑陽美 議員  
「民主クラブ」

## 地域全体で支える子育てを 効果的な先進事例を研究

◎ 今後は行政が担う子育て支援に加え、地域全体で子育てを支えるという視点を一層強めて取り組むことが必要と考える。地域全体で子供を育てる環境づくりに向けた、市の今後の方向性について伺う。

だけでなく、市民、企業、地域が協働して取り組むべき課題です。そのためには、昨年制定した深川市子ども子育て条例の理念を広く浸透させていくことが重要と考えます。今後もこれまでの取組を継続しつつ、支援の輪をさらに広げるとともに、先進事例を参考に効果的

な手法の研究を進め、地域ぐるみで子育て環境の充実が図られるよう取り組めます。

関わり、互いに支え合いながら健康を維持しているまちづくりについて、市としての今後の展望を伺う。

います。そのため、個人の行動と健康状態改善のきっかけにもなる健康診断の受診勧奨を継続するとともに、具体的な健康づくりの普及啓発や、住民主体の活動への伴走支援も継続し、地域全体で健康づくりを意識し支え合える体制整備に取り組みを進めます。

深川市健康づくり計画：市HP



健康づくり事業のイメージ



やまもとときお 議員  
山本時雄 議員  
「令和公明クラブ」

## ふるさと納税の寄附状況は 寄附額は安定的に推移

◎ 昨年は全国的な米不足が騒がれる中、米価が市場開始以来の高値となり、本市のふるさと納税返礼品でも米が最も選ばれた。米価の高騰は続いているが、令和7年度のふるさと納税の寄附状況を伺う。

◎ 令和8年2月末時点の寄附額は約6億4千万円、前年同期と比較し約40%となり、昨年より低い水準で推移しています。その要因として、昨年度は全国的な米不足という特殊な社会情勢の中で、本市の主力返礼品である米に対して高い注目と需要が集まったことが大きく影響したものと分析しています。一方で、

前々年度の同時期との比較では、約101%と微増しており、寄附額は本来の安定した寄附推移に戻りつつあると捉えています。

数々は年々増加していると思うが、令和5年度から現在までのエゾシカ、アライグマの処理頭数について伺う。

◎ 有害鳥獣処理施設における有害鳥獣の処理頭数については、有害鳥獣処理施設におけるエゾシカ、アライグマの処理頭数について、エゾシカは令和5年度が515頭、6年度が481頭、7年度は1月末現在

アライグマ等の捕獲について：市HP



有害鳥獣処理施設



みやざわたかし 議員  
宮澤孝司 議員  
「令和公明クラブ」

## パークゴルフ場の管理は 快適な環境維持に努める

◎ 芝枯れの状況を踏まえたりバーサイドパークゴルフ場のオープン時期と、総合運動公園パークゴルフ場のコース増設を含む利用者の要望を踏まえたコース整備など、今後の管理運営について伺う。

◎ リバーサイドパークゴルフ場は、芝の回復状況を慎重に確認する必要があります。養生に時間を要する場合はオープンが遅れる可能性があります。最終的なオープン時期は、雪解け後の芝の状態などを見て判断します。また、総合運動公園パークゴルフコースは、利用者から整備の要望が寄せられていますが、コースの配置

や管理方法、運営体制などの研究が必要です。今後も適正な管理を行い、快適にプレーできる環境維持に努めます。

◎ 旧職業訓練センターの管理について、ふかが氷雪まつりが令和7年の開催をもって終了し、施設の活用見

込みがなくなりました。草刈りや屋根雪の処理など、地域に配慮した管理が必要と考えるが、今後の利活用と維持管理について伺う。

深川リバーサイドパークゴルフ場：市HP



深川リバーサイドパークゴルフ場



ささきかずお 議員  
佐々木一夫 議員  
「れいわ新選組」

## 生活応援給付金の支給方法 丁寧に説明し柔軟に対応

◎ 臨時会では、私だけが給付額が他町より少ない理由や特に高齢者は電子クーポン対応が困難との質疑をした。指摘どおり混乱と不満が生じているが、今からでも高齢者は現金給付に切り替える考えは。

◎ 本事業は、現時点で約8割の方が受給を完了

◎ 既に指摘してきたが、多額の補助金を投じてきた短大の撤退に対し、短大に全てを任せるとして

◎ 拓殖大学北海道短期大学の閉学後の対応については、同短期大学を所有する学校法人において、教育機関を中心に継承の可能性を検討しており、市としても学校法人と連

拓殖大学北海道短期大学HP



学生募集停止を発表した拓殖大学北海道短期大学

# 令和7年度政務活動費収支報告

議員の調査研究等の活動に資するために必要な経費の一部として、議員1人当たり年額12万円までを会派に対し政務活動費として交付することができます。

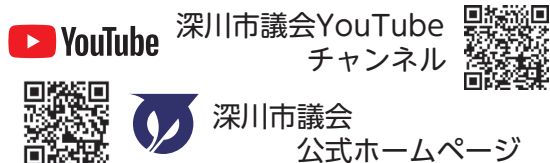
令和7年度の各会派における政務活動費の収支内訳は以下のとおりです。

(単位：円)

会派	収入 (交付限度額)	支出	調査研究費 及び要請・陳情活動費 (主な内容)	研修費 (主な内容)	広報費	資料 購入費
公政 クラブ [5人]	343,080 (600,000)	343,080	312,170	0	0	30,910
			10月9日～11日 ○第87回全国都市問題 会議(栃木県)ほか 10月23日 ○北海道庁要請活動			
民主 クラブ [4人]	480,000 (480,000)	480,000	398,860	64,700	12,000	4,440
			8月27日～28日 ○第20回全国市議会議 長会研究フォーラ ム(札幌市) 10月9日～10日 ○第87回全国都市問題 会議(栃木県)	5月7日～9日 ○令和7年度全国市町 村議会議員研修 (滋賀県)		
令和公明 クラブ [3人]	120,600 (360,000)	120,600	40,360	60,440	0	19,800
			8月27日～28日 ○第20回全国市議会議 長会研究フォーラ ム(札幌市)	2月19日 ○令和の地方議会に求 められる議員力アッ プ研修(オンライン) ほか1件		
れいわ 新選組 [1人]	120,000 (120,000)	120,000	0	0	120,000	0
日本共産党 [1人]	120,000 (120,000)	120,000	32,480	87,520	0	0
			11月18日～19日 ○メタバース活用によ る不登校対策 (帯広市)	10月27日～28日 ○全国地方議員交流研 修会(札幌市) ほか3件		

※政務活動費に充てることができる経費の範囲は条例等で定められています。  
実績報告書や収支報告書の詳細はホームページで確認できます。

政務活動費



問合先：深川市議会事務局内

〒074-8650 深川市2条17番17号  
電話0164-26-2282 (直通)